ARIB NEWS

一般社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

No.1173 2019 年 6 月 3 日

5 月 15 日～6 月 15 日は「情報通信月間」です

期間中は、「ICT で 人と地域の未来につながる　やさしい社会へ」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、「記念中央式典」をはじめ、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。ARIB でも情報通信月間行事として本年も「電波の日記念講演会（5 月 27 日）」を実施しました。また、「周波数資源開発シンポジウム 2019（7 月 5 日）< *Web にて 6 月 3 日から申込受付開始* >」を開催します。

ARIBからのお知らせ

第9回定時総会、第30回電波功績賞表彰式及び祝賀会開催のご案内

6 月 25 日（火）に、下記のとおり第 9 回定時総会、第 30 回電波功績賞表彰式及び祝賀会を開催します。

会員の皆様には、別途ご案内文書を送付いたしますので、ご参加をよろしくお願いします。

記

1　日時　2019 年 6 月 25 日（火）午後 3 時 30 分から午後 6 時 30 分

2　場所　ホテルニューオータニ　千代田区紀尾井町 4-1（電話　03-3265-1111）

3　スケジュール

(1)　第 9 回定時総会　午後 3 時 30 分から午後 4 時 15 分
鳳凰中西の間（ガーデンタワー宴会場階）

(2)　第 30 回電波功績賞表彰式　午後 4 時 20 分から午後 5 時
鳳凰中西の間（ガーデンタワー宴会場階）

(3)　祝賀会　午後 5 時 10 分から午後 6 時 30 分
鳳凰東中の間（ガーデンタワー宴会場階）

「周波数資源開発シンポジウム2019」開催のお知らせ

一般社団法人電波産業会（ARIB）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）との共催により「周波数資源開発シンポジウム 2019 － 周波数利用の可能性を拡げる次世代ワイヤレス技術 －」を開催します。

2019 年中に国内で一部サービス開始が予定されている第 5 世代移動通信システム（5G）の登場を契機に、あらゆるシーンでワイヤレス技術が利用される時代が訪れつつあります。2020 年代においては、5G の利活用に留まらず更に高い周波数や新しい無線の利活用技術の開発が進むことで様々な新サービスの登場が期待されます。具体的には、未開拓の周波数帯域であるテラヘルツ波やミリ波の応用技術、マイクロ波空間伝送によるワイヤレス電力伝送技術、5G を支える次世代衛星通信技術などが、次世代のワイヤレス技術として注目を集めています。

本シンポジウムでは、新たな電波の利活用により周波数利用の可能性を拡げる次世代ワイヤレス技術に焦点を当て、技術や標準化動向、アプリケーション、政策等について、産学官の専門家による講演を行います。研究者や専門家のみならず、多くの方々のご参加を心からお待ち申し上げます。

記

1　日　　時：　2019 年 7 月 5 日（金）13 時から
2　会　　場：　明治記念館　蓬莱の間（東京都港区元赤坂 2-2-23）
　　https://www.meijikinenkan.gr.jp/
3　主　　催：　一般社団法人電波産業会
　　国立研究開発法人情報通信研究機構
　後　　援：　総務省
　協　　賛：　情報通信月間推進協議会
4　テーマ：　「周波数利用の可能性を拡げる次世代ワイヤレス技術」
5　定　　員：　250 名
6　参加費：　無料
7　申込方法：　当会ホームページよりお申し込み下さい。
　　https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html

8　問合せ先：　一般社団法人電波産業会　周波数資源グループ　角埜（すみの）
　　(TEL：03-5510-8593　e-mail：k-sumino@arib.or.jp)

情報通信月間参加行事
「周波数資源開発シンポジウム 2019」
―― 周波数利用の可能性を拡げる次世代ワイヤレス技術 ――

時 間	次　　第	講　　師（敬称略）
12:30	**開場**	
13:00	**開会**	
13:00～ 13:05	**開会挨拶**	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事 門脇　直人
13:05～ 13:10	**来賓挨拶**	総務省 総合通信基盤局　電波部長 田原　康生
13:10～ 13:50	**基調講演** 「最近の電波政策の動向について」	総務省 総合通信基盤局　電波政策課長 布施田　英生
13:50～ 14:40	**講演1** 「未開領域への挑戦：テラヘルツ波応用技術」	国立研究開発法人情報通信研究機構 未来 ICT 研究所長、 ARIB テラヘルツ調査研究会 委員長 寶迫　巌
14:40～ 15:30	**講演2** 「ミリ波通信機器の現状とポテンシャル：特別なものから幅広いインフラへと変わりつつあるミリ波通信」	IHS マークイット シニアアナリスト/ジャパンリサーチ 大庭　光恵
15:30～ 15:50	（休憩）	
15:50～ 16:40	**講演3** 「マイクロ波空間伝送でワイヤレス電力伝送は新たなフェーズへ」	京都大学 生存圏研究所 教授、 ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム 代表 篠原　真毅
16:40～ 17:30	**講演4** 「衛星コンステレーションや衛星5G 技術の動向と次世代衛星通信技術」	国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 宇宙通信研究室長 豊嶋　守生
17:30～ 17:35	**閉会挨拶**	一般社団法人電波産業会 専務理事 松井　房樹
17:35	**閉会**	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

電波の日記念講演会を開催

5 月 27 日（月）、一般社団法人電波産業会主催、情報通信月間推進協議会協賛、総務省後援による情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」が、明治記念館「蓬莱の間」（港区元赤坂）において開催されました。

本講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をメインテーマに、講演 1 は基調講演として、総務省 総合通信基盤局長の谷脇康彦様から「データ主導社会の実現に向けて　～電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証～」を、講演 2 では、楽天モバイル株式会社 代表取締役社長の山田善久様から「携帯キャリア事業新規参入に向けた楽天の取り組み」、講演 3 では、日本放送協会 専務理事・技師長の児野昭彦様から「進化をつづける放送の現在と未来」、講演 4 では、シャープ株式会社 常務 研究開発事業本部長の種谷元隆様から「5G+8K で変える 2020 年の生活について」の演題で、ご講演いただきました。

電波の日記念講演会の様子

ご講演は、実用サービス開始に向けて着々と準備が進む 5G システムや、地上デジタル放送の高度化等をはじめ、通信分野と放送分野の現在の動向と取り組み、及び今後に向けた課題などについて、各分野のトップの視点で豊富なデータや関連するビデオなどによって具体的でわかりやすいプレゼンテーションがなされ、多数の方々が熱心に聴講されていました。

後日 ARIB の Web サイトにて、ご講演のプレゼンテーション資料の掲載を予定しております。

総務省 総合通信基盤局長 谷脇 康彦　様	楽天モバイル株式会社 代表取締役社長 山田 善久　様	日本放送協会 専務理事・技師長 児野 昭彦　様	シャープ株式会社 常務　研究開発事業本部長 種谷 元隆　様

第 167 回電波利用懇話会を開催
「北海道胆振東部地震＆ブラックアウトにおける通信・放送サービスについて」

5 月 24 日（金）に、第 167 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省 北海道総合通信局 前局長の藤本昌彦様を講師にお迎えし、「北海道胆振東部地震＆ブラックアウトにおける通信・放送サービスについて」と題してご講演いただきました。ご講演ではまず地震の被害状況全般、次に通信・放送の被害状況についてご説明頂いた後で、ご自身が陣頭指揮された北海道総合通信局による対応について、被害復旧への緊急対応の他、今後の災害への備えなど、分かりやすくご説明いただきました。

当日は、65 名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、アマチュア無線の活躍はあったのか等の活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料は、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html にて公開しています。

第 167 回電波利用懇話会の様子と講師の藤本様

第 26 回理事会の報告

5 月 28 日(火)、当会会議室において第 26 回理事会を開催し、2018 年度の事業報告及び決算、第 9 回定時総会の開催等について審議し、事務局提案のとおり承認又は可決して滞りなく終了しました。

第 26 回理事会において、承認又は可決された事項の概要は、次のとおりです。

1　2018 年度の事業報告及び決算について

2018 年度の事業報告及び決算について承認の上、定時総会に付議することとされました。

2　公益目的支出計画実施報告書について

毎事業年度経過後 3 ヶ月以内に内閣総理大臣あてに提出することとされている公益目的支出計画実施報告書について承認の上、定時総会に付議することとされました。

3　第 9 回定時総会の開催について

第 9 回定時総会は、2019 年 6 月 25 日（火）午後 3 時 30 分からホテルニューオータニにおいて、2018 年度の事業報告及び決算、役員等の選任などを議題として開催することが可決されました。

4　その他の報告事項等

理事の職務執行状況報告、理事会決定に基づき会長に一任された入会承認等の実績報告等が行われました。

今週の ARIB 内会合（6 月 3 日～6 月 7 日）

6 月 3 日（月）　第 23 回電磁環境委員会（総会）、委託研究報告会

6 月 5 日（水）　テラヘルツ調査研究会（センシング編）　第 1 回会合

今週の国際会合（6 月 3 日～6 月 7 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」（平成 14 年 9 月 30 日付け諮問第 2009 号）のうち「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」の検討に関する提案募集

—1.9GHz 帯に導入を希望する新たな電波利用システム—

【令和元年 5 月 24 日発表】

情報通信審議会　情報通信技術分科会　陸上無線通信委員会は、「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」（平成 14 年 9 月 30 日付け諮問第 2009 号）のうち「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」として、1.9GHz 帯を使用する LTE 技術を採

用した sXGP 方式が使用可能な周波数を拡充するために、隣接する周波数帯を使用する PHS の無線局との共用など、必要な技術的条件の検討を開始しています。この技術的条件の調査・検討にあたり、1.9GHz 帯において、PHS サービス終了後に導入を希望する無線システムに係る技術提案について、令和元年 5 月 24 日（金）から同年 6 月 24 日（月）までの間、募集しています。

詳細については【令和元年 5 月 24 日の総務省報道資料】をご覧ください。

「平成 30 年度電波の利用状況調査の調査結果」の公表及び
「平成 30 年度電波の利用状況調査の評価結果（案）」に対する意見募集
【令和元年 5 月 27 日発表】

総務省は、平成 30 年度電波の利用状況調査の調査結果を取りまとめ公表しました。

また、その結果を踏まえた電波の利用状況調査の評価結果（案）を作成し、令和元年 5 月 28 日（火）から同年 6 月 27 日（木）までの間、意見募集を行なっています。

詳細については【令和元年 5 月 27 日の総務省報道資料】をご覧ください。

電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証　中間答申（案）
に対する意見募集
【令和元年 5 月 28 日発表】

情報通信審議会　電気通信事業政策部会では、2020 年以降の 5G、フル IP 化、ネットワーク仮想化等の電気通信事業分野における技術革新やプラットフォームサービスの進展等の市場構造の変革を踏まえて、2030 年頃を見据えた電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証を行うため、「電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証（平成 30 年 8 月 23 日付け諮問第 25 号）」について「電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証に関する特別委員会」を設置し、平成 30 年 10 月 4 日（木）から検討を行っています。

今般、同特別委員会から中間報告書の報告を受けたうえで、電気通信事業政策部会において「電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証 中間答申（案）」を取りまとめ、令和元年 5 月 29 日（水）から同年 6 月 27 日（木）までの間、意見募集を行っています。

詳細については【令和元年 5 月 28 日の総務省報道資料】をご覧ください。

特性試験の試験方法を定める件の一部を改正する告示案に係る意見募集

― シングルキャリア周波数分割多元接続方式携帯無線通信陸上移動局の無線設備（時分割複信方式を用いるもの）の特性試験方法等の追加―

【令和元年 5 月 29 日発表】

総務省は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（昭和 56 年郵政省令第 37 号）第 2 条第 1 項に規定する特定無線設備が追加、変更されたことに伴い、当該特定無線設備の試験方法を追加、変更する必要があるため、平成 16 年総務省告示第 88 号（特性試験の試験方法を定める件）の一部を改正する告示案を作成し、当該告示案について、令和元年 5 月 30 日（木）から令和元年 6 月 28 日（金）までの間、意見募集を行なっています。

詳細については【令和元年 5 月 29 日の総務省報道資料】をご覧ください。

2019 年世界無線通信会議（WRC-19）に向けた我が国の考え方（案）に係る意見募集

【令和元年 5 月 30 日発表】

世界無線通信会議（WRC）は、国際電気通信連合（ITU）無線通信部門の重要な会議の一つであり、周波数や衛星軌道の利用方法等に関する国際的な取決めを規定した無線通信規則の改正を行うことを目的としています。WRC-19 は令和元年 10 月 28 日（月）から同年 11 月 22 日（金）までの間、エジプト（シャルム・エル・シェイク）において開催される予定です。

総務省では、令和元年 7 月 31 日（水）から同年 8 月 6 日（火）までの間、東京において開催される第 5 回アジア・太平洋電気通信共同体 WRC 準備会合（APT-WRC 準備会合）への参加に先立ち、「2019 年世界無線通信会議（WRC-19）に向けた我が国の考え方（案）」を作成し、この案について、令和元年 5 月 31 日（金）から同年 7 月 1 日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については【令和元年 5 月 30 日の総務省報道資料】をご覧ください。

ARIB
Association of Radio Industries and Businesses
ARIB NEWS 発行所
一般社団法人 電波産業会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
https://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp